

事業番号	04 11 01	事業改善シート（令和2年度実施事業分） 当初要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	高等教育振興費	部局	県民文化部	課・室	高等教育振興課
		実施期間	H26～	E-mail	koto-shin@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）					
8つの重点目標	人口の社会増を実現				
総合的に展開する重点政策	1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり		2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保		

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿（予算編成時）	【現 状】
	○県内大学の収容力が全国最低水準（R元：19.4%、全国44位）であり、県内の大学進学者の多くが県外へ進学している（R元：県外流出率81.7%、全国7位）。また、県内大学の卒業生の約4割が県外に就職しており、若い世代の人口流出の要因となっている（H30年度県内大学卒業生の県内就職率57.2%）。
	○県内高等教育機関が持つ知的・人的資源を地域や社会の課題解決に活用することは、より実践的な教育や研究、地域の活性化に寄与するとともに、学生が地域への理解を深めることにつながり、県内への人口定着の契機となるものと期待される。
	【目指す姿】
	○信州高等教育支援センターが中心となり、県内高等教育機関の魅力を高め、県内外へ発信するとともに、産学官連携による人材の育成・定着を推進することで、「郷学郷就」の県づくりを進める。
	○県内高等教育機関と地域の企業や研究機関、市町村などと連携して学びの場の提供や地域づくりを推進する。
	【実施内容】
	○産学官連携インターンシップ事業
	○信州で学ぼう！魅力発信事業
	○大学整備促進事業

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]

No.	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	
								前年度繰越	0	8,042	
1	県内大学の収容力	19.4% (R1.5)	19.4% (R2.5)	→	20.7% (R3.5)	↑	維持向上	達成	現計予算	50,966	565,056
									合計(A)	50,966	573,098
									うち一般財源	45,612	568,439
2	県内大学の志願者数	16,716人 (R1.5)	16,679人 (R2.5)	↓	15,448人 (R3.5)	↓	16,800人	未達成			
3	県内大学生のインターンシップ参加率	27.6%	35.2%	↑	22.7%	↓	40.0%	未達成			
4									決算額(B)	42,381	569,961
									職員数(人)	5	5

成果指標設定理由

- 「1 県内大学の収容力」は、総合5か年計画における関連目標に沿って設定
- 「2 県内大学の志願者数」は、県内大学の魅力向上度を計るために設定
- 「3 県内大学生のインターンシップ参加率」は、総合5か年計画におけるフォローアップ指標に沿って設定

達成状況の分析

- ・「1 県内大学の収容力」は、R3.4月の松本看護大学の開学（入学定員70人）及び佐久大学人間福祉学部の新設（同70人）などにより入学者が増加したため、収容力は前年比1.3ポイント増となり目標達成となった。
- ・「2 県内大学の志願者数」は、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大などにより、主に県外からの志願者数が減少したため目標未達成となった。
- ・「3 県内大学生のインターンシップ参加率」は、新型コロナウイルス感染症の影響により学生インターンシップの実施が少なかったため目標未達成となった。

主な取組

- ✓ 県内大学等の魅力を集録した冊子を制作・配布
 - ・ 県内の10大学と8短期大学の在学学生や卒業生による各校の魅力紹介などを集録した冊子を制作し、県内の高校1年生に配布
- ✓ 県内外の大学生のインターンシップを支援
 - ・ インターンシップ参加希望学生と県内企業のマッチングを実施
- ✓ 県内における大学や学部の新設などを支援
 - ・ 佐久大学人間福祉学部と松本看護大学の新設や公立諏訪東京理科大学における大学院拡充に必要な施設設備整備費に対して、所在市町村とともに財政支援を実施



インターンシップへの参加を募集するチラシ

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内大学の魅力をより効果的、かつ、広範に周知するための手段を研究し、実施する必要がある。 ・ 産学官連携インターンシップ事業への参加率を高めるため、学生に対する周知を強化する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の業務委託先や高校関係者などとの意見交換を通して改善を図っていく。 ・ 産学官連携インターンシップへの参加を促進するための学生向け動画を作成するなど、学生の参加率を高めるための具体的な取組を実施する。

事業番号 04 11 01 細事業一覧（令和2年度実施事業分） 当初要求 当初予算案 補正予算案 点検

事業名	高等教育振興費	部局	県民文化部	課・室	高等教育振興課
-----	---------	----	-------	-----	---------

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
1	信州高等教育支援センター事業費		41,286 千円	569,370 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	大学生のインターンシップ支援	直接	県内外の大学生（短大生を含む。）の県内企業におけるインターンシップにおいて、学生と企業をマッチング 【マッチング件数：36社、延べ58人】	
2	県内大学等の魅力発信	委託	県内大学・短大で学ぶ魅力を集録した冊子を制作し、県内の高校1年生に配布 【委託先：信越放送（株）】	
3	大学の施設整備等支援	補助金	佐久大学における人間福祉学部の新設、松本看護大学の新設、公立諏訪東京理科大学における大学院の拡充に必要な施設設備整備に対して、各大学の所在市町村とともに財政支援を実施 【補助金交付先：佐久市、松本市、諏訪広域公立大学事務組合】	
4	県内大学連携事業補助金	補助金	社会人と学生の対話の場「大しごと一く in 信州 Advance 『松本若者会議』」を開催し、地域の課題について、学生が企業の社員や自治体の職員と対話しながら解決策を検討する取組などを実施 【補助金交付先：高等教育コンソーシアム信州】	

細事業 No.	細事業名		R1年度 決算	R2年度 決算
2	その他経費		1,095 千円	591 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和2年度 実施内容(実績)	
1	「高等教育コンソーシアム信州」特別会員負担金	負担金	県内10大学が参画する「高等教育コンソーシアム信州」に特別会員として関与 【負担金交付先：高等教育コンソーシアム信州】	
2	事務費	直接	高等教育振興課用務に必要な事務費	